磐城水産新報

毎月十、廿、卅日發行
定價 一部十錢 一ケ年三圓
廣告料 十二字詰一行五十錢
發行兼編輯印刷人 伊藤隆次
發行所 福島縣小名濱町 磐城水産新報社

言論

國家民人の爲め當局の反省を促す

伊藤白潮生

往昔は國民稀薄にして、我帝國も農業立國で充分であり・是れを國是とした然るに近年約百萬人宛の增殖力を表示しつゝありる政府當局は移民等にて此れを解決せんとして、毎年巨万の富を其方面に費用しつゝある、一面至極道理の如く視ゆるも、余の見解とは少しく懸隔を異にする、此方法は餘りに消極的に過ぐると思ふ

我國は四圍海然も、世界三大漁塲の一と數へられ目睫に幾億の富を有し乍、最も働き盛りの青年を海外に移民させ、殘るは老人婦女子のみ然して手近の富を我が關せずインとして澄し込むなど餘りに智惠がなさ過ぎる

我國は在來信用組合、産業組合と各方面の事業には相當の意を要し乍、國家として水産界に何等の施設なく殊に金融機關は皆無である此際政府當局、縣當局等に於ても水産界進展否、國家の發展には、我水産業者の爲め特殊の金融施設を考察し海の日本としての名實相完せん事を切望するものである

漁業の經過と將來

吾人は水産學上の學識なく單なる實驗上より漁産之經過と將來に就き禿筆を揮い洽く諸氏之批評を試みる事としよふ。

以前は船体も挾小にして七丁張りと云ふて、艪を七丁立て風のある時は帆走し漁業を營んだ爲め乘込員は僅か十名か十四五名位で近海漁業を營んで居つたが、漸次十一丁張から十三丁張位迄進んだが、去る大正八年から吾が東北の漁業船に發動機關を据付けたか、僅八馬力位の者であつたが漸次遠洋漁業を營む必要から馬力の擴張石城郡江名町折戸、太成丸がデーゼル百馬力を据付他を示動したので漸次和洋折衷形の漁船を造り、馬力も擴大せられ、從つて漁撈方法も輓近學説と實地應用縣は其間石城郡小名濱町に水産試驗所を置き奈古曾丸や、磐城丸で、盛んに海洋觀測漁塲の探見をなし、指導して今日の隆盛を來したのである、余は某専門家の説を聞くと、徊遊魚と固定魚とあり、回遊魚は潮流に連れて來るのであるから、魚族の限少を來すが如き事はないが、固定魚は乱獲すれば、到つて僅少であるとの説で在るから、沖曳ナザ曳漁業者は網の目合でも制限せざらんか、將來憂ふ可き現象を來す、當然で在ろふ、幸にして我顔前に展開せる、太平洋は世界の三大漁塲にして、殊に千葉縣銚子の犬吠岬方面より流がるゝ、暖流と北海道宗谷津輕海峽方面より流がる、寒流の分岐点にして、磐城の海洋は寒暖流の魚族の生息に適し、夏は鰹が取れ。春秋冬期は鮪や鯛や雜魚が澤山で、就中蒲鉾の好原料なる、沖鱈が豊富で製造業も盛んで在る。我帝國の人類は古來よりの因習で魚肉が第一の復食物で、牛肉や其他の肉食にも劣らぬ滋養分が有るから、日本人の体格を强健にし、富國强兵の基礎を造る唯一の肥料で在ると極言して憚からない。

フースヒー

水生と人物

中野鐵之助君

小名濱町漁業家サタユウと云ふ號を以て漁業家稀に視る、勤儉力行家として先代よりめき〳〵名聲を高めつゝある、中野鐵之助氏は現町議と漁業組合理事、縣水産議員として斯業に重きを成して居る。

君は餘りにまじめ過ぎる感がある、今少しく大局に眼をしらき、包容力を大にし時代思潮を洞察し、善處したならんには、申分なき本町の第一人者である。

將に本町は、商港を目前に控へ平小鐵道も近年布設の運びにある際、宜しく自巳發見を成し、先輩としての名實相完かれん事を切望する次第である。

渡邊勘哉君

小名濱漁業組合事務長として、我水産界の慈父として生字引として、組合長立花雄七君の腦隨となり、ここうとして大小名濱建設の第一線に立ち飛躍されつゝある、君は古武士的俤を持し不出世の英雄を忍ばせる、第一人である。自巳を忘れ子弟の教育に全復の力を要する。又感心の一つなり。筆者の最も意を强するは其精力絶倫の点老て益々盛なりの意氣共鳴〳〵

磐城 小名濱古湊
發動機製作修理
並に中古品賣買
㊇ 丸八鐵工所
營業主任 倉兼常八
電話五〇八番呼出

美人の御氣に
カフェー カスケート
小名濱町

小名濱町
泉、小名濱、江名町、豊間、定期運轉
馬目乘合自動車部
主任 馬目喜右エ門

胃腸病の靈湯
神白の湯

外科 花柳病科 専門
木村外科醫院
平町立町 （電三〇九番）

良品廉賣 確實敏捷
久 釜屋
福島縣平町
電長九番

泉小名濱間 乘合自動車
大平自動車部
泉驛前 主 大平春芳

銘酒 清世界 清水正宗
醸造元
清水屋
小名濱町 小野晋平 電話六番

三菱電機株式會社一手特約代理店
電機器具販賣。修繕。一般機械製作
藤浪電機工業所
主任 藤浪時康
平町白銀町（電話三二九）

現契約高參百七十万余圓
縣下各地出張所參十ケ所余
健實主義 磐城無盡商會
石城郡植田町【電話一番】
會長 小宅嘉久治

高久病院
診療科目
内科、小兒科、婦人科
外科、耳鼻咽喉科、
皮膚病、花柳病科、
レントゲン科、
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑士 佐竹菊雄
磐城平町 電話五二三番

舶用セミデーゼル機關製作
東京池貝鐵工所東京日本鐵工所特約代理店
中之作鐵工場
主 吉田正雄
福島縣石城郡江名町
電九番四一番

磐城水産工業株式會社
社長 小野晋平
總支配人 福尾伊太郎
電六六番四六番
營業課目
水産物製造加工販賣、一般冷藏業
鮮魚賣買仲買、水産物委託販賣、
水産金融及仕込、名濱魚市塲經營、

◆外科一般◆×光線科△
上田外科醫院
平町南町（電話二九番）

歯科一般。口腔外科
院長 鈴木正
◁江名濱出張所▷
運日午後出張 小名濱中丁

内外科一般
中村醫院
院長 中村三郎
小名濱中丁 電話十八

小名濱漁業組合
組合長 立花雄七
事務長 渡邊勘哉